

平成28年10月鳥取県中部地震の体制及び災害状況等

1. 地震の状況

鳥取県倉吉市、湯梨浜町、北栄町において、10月21日14時07分に震度6弱の地震が発生。津波の発生無し。

2. 本部、各事務所体制及びダム管理所の防災体制

非常体制：本部、倉吉支部、中国技術支部

3. 施設被害情報・対応状況等

【国管理河川】天神川水系小鴨川堤防天端クラック確認。応急対策完了。

【利水（農水）ダム】 下蚊屋ダム：貯水池の法面小崩落。
西原ダム：ダム天端に微少クラック

【国管理道路】通行止めなし。片側交互通行1箇所。

【県管理道路】通行止め鳥取県4箇所

【港湾施設】重要港湾・地方港湾：被害情報なし

【営繕施設】整備局庁舎：軽微な被害のみ
官庁施設：断水等4施設で被害報告

【都市施設】公園：被害情報なし。
下水道：鳥取県マンホール付近陥没37箇所
内、通行止め2箇所（迂回路有）
公営住宅：鳥取県【4市4町】90戸、30棟、12団地
（軽微な損傷）
岡山県【1町】25戸

4. リエゾン（情報連絡員）派遣状況

24日は職員8名が活動実施。（発災日から延べ42人・日）

鳥取県庁 2名活動中

北栄町役場 2名活動中

湯梨浜町役場 2名活動中

三朝町役場 2名活動中

倉吉市役所 23日帰還

5. TEC-FORCE（緊急災害対策派遣官）派遣

24日は職員21名が活動実施。（発災日から延べ77人・日）

【先遣班司令】2名（出雲河川）

23日 倉吉河川国道事務所にて、各班へ指示・連絡調整。

平成28年10月24日9:00現在(13:00修正)

24日 倉吉河川国道事務所にて、各班へ指示・連絡調整。

【被災状況調査班①】4名(河川部2名、太田川1名、総務部1名)

【被災状況調査班②】4名(太田川4名)

【被災状況調査班③】4名(道路部3名、総務部1名)

【被災状況調査班④】2名(営繕部2名)

○湯梨浜町

23日 道路及び町施設(建物)被災調査、橋梁調査箇所の資料作成

24日 河川及び町施設(建物)被災調査、橋梁調査実施(予定)

○三朝町

23日 三朝町長に10/22砂防調査結果報告。活動終了

24日 活動予定なし

○北栄町

23日 道路被災状況調査実施。

24日 道路被災状況調査実施(予定)

【応急危険度判定班】5名(営繕部5名)

23日 三朝町で建物被災状況調査を実施。三朝町へ報告。

24日 琴浦町にて建築物判定の打合せを実施(予定)。

6. 上空調査(防災ヘリ)

発災日(21日)から2日間防災ヘリ1機(愛らんど号)を派遣し調査を実施。

21日14:50高松空港離陸、鳥取県内調査、17:20出雲空港着 被害情報なし。

22日8:30出雲空港離陸、砂防、河川、道路関係の被災状況調査を実施。

14:30出雲空港離陸,16:00 出雲空港帰還。

23日～【愛らんど号】出雲空港待機

【きんき号】待機

【はるかぜ号】待機

7. 災害対策機械の派遣

発災日(21日)から災害対策機械を2台が活動。

【照明車】倉吉市役所(1台)で損傷箇所監視を実施。22日帰還。

【待機支援車】倉吉河川国道事務所(1台)へ派遣しTEC-FORCE活動支援。

22日から待機中。

8. 物資要請対応

【土のう袋・ロープ】

■自治体要請への対応(リエゾン情報)として土のう袋12,000袋、ロープ7,300mを提供。

鳥取県からの要請で倉吉市・湯梨浜町・北栄町に提供。

・土のう袋9,000袋(鳥取河川国道)

・ロープ800m(倉吉河川国道)

平成28年10月24日9:00現在(13:00修正)

湯梨浜町・三朝町からの要請で提供

- ・湯梨浜町土のう袋2000袋、ロープ5,000m(松江国道)
- ・三朝町土のう袋1,000袋、ロープ1,500m(三朝町)

【ブルーシート】

■倉吉市・湯梨浜町・北栄町・三朝町からの要請(リエゾン情報)でブルーシート **3,443** 枚を提供。

- ・倉吉市 **1006** 枚(倉吉、岡山河川、境港湾)
- ・湯梨浜町 530 枚(松江国道)
- ・北栄町 1,037 枚(日野川、出雲、倉吉、岡山国道、境港湾)
- ・三朝町 870 枚(鳥取、岡山河川)

9. 被災建築物応急危険度判定の支援

- ・鳥取県からの要請にもとづき、近隣各県から28名の職員が応急危険度判定の支援を実施予定(24日~26日)⇒中国地整からも職員5名を派遣